

# 今日の一問 (やまだ塾)

(2008年5月16日掲載)

No.19	認知症高齢者への援助に関して、周辺症状等の理解および会話における心理学的留意点を述べよ。
解答	<p><b>・認知症高齢者の周辺症状等の理解における心理学的留意点</b></p> <p>周辺症状(人格変化, 不安・焦燥・興奮, 抑うつ, 幻覚・妄想, せん妄, 睡眠障害など)等の現象だけを評価するのではなく, その周辺症状を起こしている原因を考える。例として, ①他人への不信感を考える, ②本人の自信喪失を考える, ③現在の生活に安心・安定できていないと考える, ④現在の生活を楽しみながら前向きに取り組むことが欠如していると考え, などがあげられる。</p> <p><b>・認知症高齢者との会話における心理学的留意点</b></p> <p>認知症高齢者は, 知的能力は低下しているものの, 会話の瞬間では内容を把握していることが多い。また, 内容の記憶保持は不得手であっても, 感覚的な記憶は長く残ることが多い。例えば, 本人の前で本人にかかわる愚痴や悪口を言うと, 会話の内容は忘れても嫌な体験をしたという感覚は長く残る可能性がある。</p>

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2008 Shunsaku Yamada. All rights reserved.